

床

“

の傾きで
お悩みの
あなたへ

現場発泡ウレタン樹脂使用

作業止めず短時間修正

床を壊さない新工法



アップコン

床

沈下・段差・傾き・空隙

こんなお悩みありませんか？

● 買い物カートが勝手に動く

● 段ボールの荷崩れ発生

● 振動で不良品率が増えた

● 補修したいけど営業を止めたくない

● 時間をかけずに修正したい

私たちはこのような床を

操業を止めずに超短時間で修正します。

お問合せ

現地調査

お見積

成約

事前打合せ

※状況により行わない場合があります。

※お電話でご連絡する場合もあります。

お客様のお悩みをお伺いします。

アップコンの工法（※次頁参照）や特長などのご説明をします。

従来工法（コンクリート打替え）

← 10日以上 →

沈下した
コンクリート
撤去
(舗装版破砕)

新しいコンクリート打設
(コンクリート舗装)

配筋・型枠設置
コンクリート打設
仕上げ・養生・型枠撤去 など

アップコン
工法

工期 1/10!

← わずか1日 →

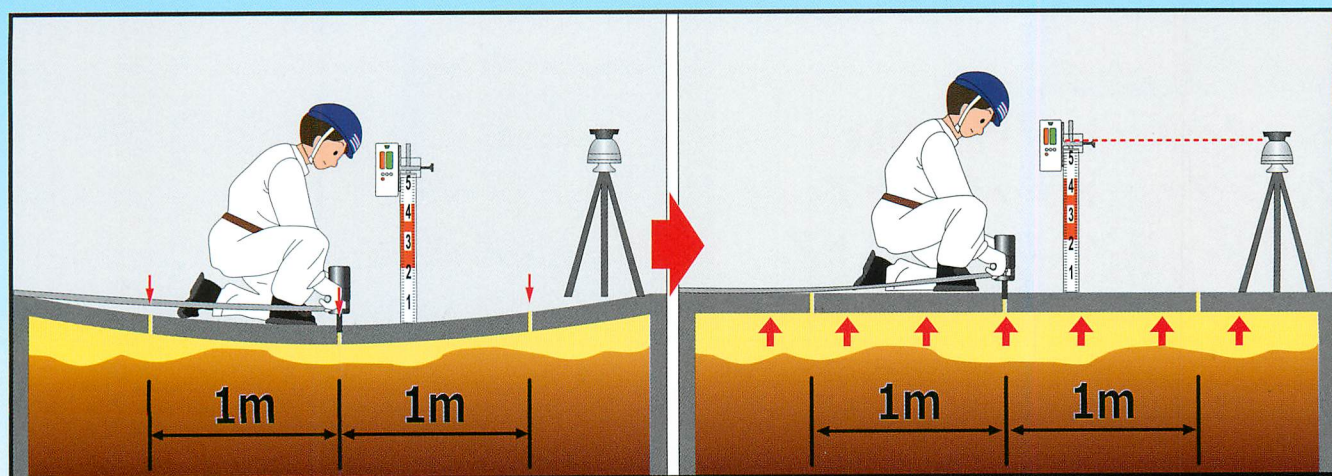
(モデル施工条件：面積：100～150㎡、コンクリートスラブ厚：150mm、最大沈下量：50mm 前後)

- 工期は従来工法（コンクリート打替え）の1/10（※当社比）
- 荷物・機械の撤去も必要なし。操業を止めない施工。
- 自社社員による高い技術力で、精度の高い安心施工。
- 完全ノンフロン樹脂。騒音・ほこり・振動がほとんどない、CO₂排出率90%以上削減した環境にやさしい工法。

アップコン工法の特長 (P11)

環境への取り組み (P14)

アップコン工法（コンクリート床スラブ沈下修正工法）とは



沈下・段差・傾きが生じた既設コンクリート床に、直径 16mm の小さな穴を開け、ミリ単位でレベルを常時監視しながら、ウレタン樹脂を注入します。床下に注入された樹脂は、短時間で発泡する圧力で地盤を圧密強化します。更に地耐力を向上させながら、コンクリートを押し上げて元に戻します。樹脂の最終強度は、約 60 分で発現します。また、床下に空隙が発生している場合でも、同じ方法で空隙充填を行います。

床沈下修正

空隙充填

施工

床振動抑制

●主な適用範囲

店舗

P.3



倉庫・物流センター

P.4



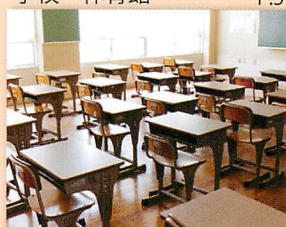
工場

P.4



学校・体育館

P.5



住宅

P.6



道路

P7-8



踏み掛け版

P7-8



空港

P7-8



- アップコン工法のこだわり・・・P 9
- アップコン工法の特長・・・P11
- 使用材料の種類・・・P12

- 施工実績・・・・・・・・・・・・P13
- 環境への取り組み・・・・・・・・P14

店舗

スーパーマーケット・パチンコ店
ホームセンター・ドラッグストア
家電量販店・コンビニエンスストア
等

Point!

- ・ショッピングカートが勝手に動かない
- ・営業時間外や来客の比較的少ない夜間に施工
(※24時間営業の場合は、立入制限を行いながらの作業)
- ・商品ラックや荷物の撤去が不要
(※狭いスペースでも作業が可能)
- ・騒音・ほこり・振動がほとんど発生しない
- ・自動ドア開閉不具合、天井の隙間など改善

～施工の流れ～



施工プラント車配置
(店舗出入り口)



商品やラックを養生



削孔位置マーキング



タイル削孔
(コアドリル使用)



コンクリート削孔 (集塵機併用)

【事例1】大型店舗 土間床沈下修正工事 (佐賀県)

施工面積: 約 4,400 m² 最大沈下量: 130mm 工期: 8 日間
(夜間連続)

※施工プラント車 4 台で対応。

施工前



沈下によって
歪んでいるラック

施工後



まっすぐに改善

地盤沈下により、沈下した24時間営業の大型店舗の床。来客の出入りが比較的少ない夜間に、施工計画に基づいて、立入制限をしながら施工を実施。



施工後測量



施工後 穴埋め・タイルの復旧



常にレベル確認をしながらの樹脂注入作業 (※複数の施工機械で同時に作業)

倉庫・工場

物流センター・工場

商品保管倉庫・車輛整備センター
等

Point!

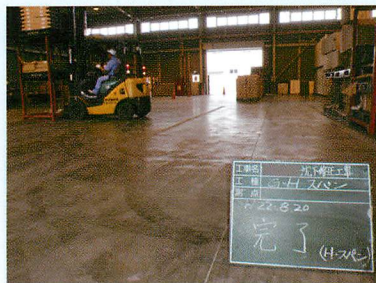
- ・ 操業中でも施工可能
(※稼働している機械がある場合、状況により異なる)
- ・ 荷物や機械の撤去が不要
(※狭いスペースでも作業が可能)
- ・ 搬送システム（ベルトコンベア）の不具合改善
- ・ 積み上げられた荷物の傾き改善
- ・ 床の振動抑制（不良品率の改善）
- ・ 騒音・ほこり・振動がほとんど発生しない

【事例2】大型商品保管倉庫 床沈下修正工事（茨城県）

施工面積：約 2,000 m² 最大沈下量：113mm 工期：6 日間 ※ 施工プラント車 1 日目⇒4 台、2～6 日目⇒3 台対応



樹脂注入作業



お客様による施工後すぐの業務再開

乾麺などの商品が保管されている大型倉庫。地盤沈下により、高く積み上げられた段ボール箱が傾いていた。短期間の集中補修のため、複数台数の施工プラント車にて、立入制限をしながら施工を実施。

【事例3】半導体大型工場 床沈下修正工事（石川県）

施工面積：約 2,410 m² 最大沈下量：152mm 工期：7 日間 ※ 施工プラント車 4 台で対応



機械を撤去せず沈下修正作業（養生徹底）

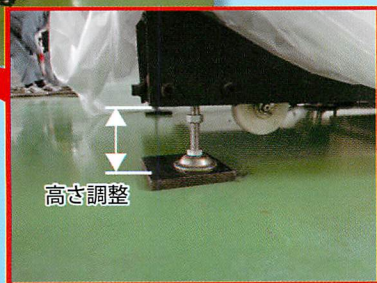


樹脂注入孔の削孔（集塵機併用）

震災により、半導体工場の床が沈下。短時間で修正できる当社工法が採用された。稼働を止めているお盆休み中の修正を依頼され、期間内に施工を終わらせるため、4台の施工プラント車で対応。機械を移動せず、そのままの状態で施工を実施。

【事例4】製袋加工工場 土間床沈下修正工事 + 床下空隙充填工事（宮城県）

施工面積：約730m² 最大沈下量：約110mm 工期：3日間 ※施工プラント車2台対応



高さ調整

地盤沈下 及び 震災の影響による床沈下で、機械に傾きが生じ、生産に支障をきたしていた。応急処置として、新たに機械の下に高さ調整用の脚を設置して水平を保っていた。



施工プラント車2台配置（工場入り口）



機械を撤去せず沈下修正作業（養生徹底）

GW中に施工を終わらせるため、2台の施工プラント車で対応。沈下修正 及び 空隙充填を実施。

Point!

学校・体育館

教室・保健室・職員室 等

- ・一般的な大きさの教室なら1日間で施工
(※沈下量 50 ~ 60mm 程度)
- ・週末の休みを利用した工期を分けた施工
- ・夏休み、冬休み期間中の集中施工
- ・ステージ下など狭いスペースでも施工可能
- ・騒音・ほこり・振動がほとんど発生しない

【事例 5】小学校図工室・校長室 沈下修正及び空隙充填工事 (岐阜県)

施工面積：約 165 m² 最大沈下量：64mm 最大空隙量：40mm 工期：2日間 ※施工プラント車1台対応

～施工の流れ～



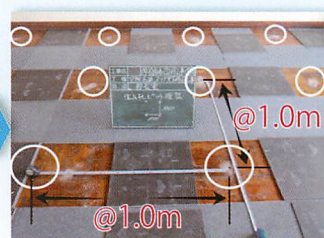
施工プラント車配置 (校舎出入り口)



施工前 教室



樹脂注入孔の削孔 (集塵機併用)



1.0m 間隔の削孔位置



注入ホース延長 (最大80m)



樹脂注入作業



施工後 レベル測量



樹脂注入孔の穴埋め

【事例 6】中学校体育館 (アリーナ+ステージ) 床改修工事 (秋田県)

施工面積：約 720 m² 最大沈下量：119mm 最大空隙量：180mm 工期：6日間 ※施工プラント車2台対応

ステージ下での樹脂注入



施工前

アリーナでの樹脂注入 (2台同時作業)



施工前

地盤沈下の影響で、体育館ステージ及びアリーナが沈下しており、授業や部活動などに支障をきたしていた。

夏休みの期間中に短時間で修正を行った。



地盤沈下によって
たわんでいる体育館ステージ



まっすぐに改善

住宅

べた基礎の戸建て住宅

※単管杭圧入工法と併用した修正

方法もあります。(沈下量が大きい住宅などでご提案しています)

Point!

- ・引越し不要。居住しながらの施工可能
- ・一般的な大きさの住宅なら3日間程度で施工
(※1F床面積約20坪、沈下量50～60mm程度)(※付帯工事は別途)
- ・屋内外に作業員を配置し慎重にレベル測量を行いながら修正
(原則5人体制)
- ・資機材一式搭載した施工プラント車で
住宅街の現場へ直行
- ・騒音・ほこり・振動がほとんど発生しない

【事例7】住宅沈下修正工事（千葉県浦安市）

施工面積：約60㎡ 最大沈下量：80mm 工期：2日間

～施工の流れ～



施工プラント車配置（玄関先）



家具等の養生



注入ホース延長（最大80m）



台所床下収納庫より床下に潜る



レベル確認をしながらの作業（※作業員 原則5人体制）



床下での樹脂注入作業（床下高さ500mm）



穴埋め



住人が居住しながらの施工

震災により広範囲において液状化被害があった浦安市。引越しをせず、短時間で修正できる当社工法は、住宅の傾き修正においても多く採用された。

東日本大震災によるべた基礎住宅沈下修正工事（2011.5～2012.6集計）

	建築面積 (㎡)	最大沈下量 (mm)	施工日数 (日)
全 体 平 均 (66 件)	62.0	99.6	3.1
浦 安 市 平 均 (34 件)	55.5	106.7	3.0
その他市平均 (32 件)	64.9	92.1	3.2

※その他市：千葉県、茨城県、埼玉県、宮城県、福島県、神奈川県内の市

【事例8】住宅沈下修正工事（茨城県潮来市）

施工面積：約60㎡ 最大沈下量：500mm 工期：8日間



施工前（右方向に大きく沈下）



施工後（元のレベルに）

液状化により、新築住宅が大きく沈下。沈下量が大きかったため、単管杭圧入工法と併用で、沈下修正を行い、8日間を終了。

道路・踏み掛け版・空港

道路・港湾・空港などのコンクリート版
橋架・トンネルなどの踏み掛け版 等

NETIS プラス 掲載技術
※NETIS 登録【KT-080008-A】されていた技術です。

【事例 7】 郡山国道 4 号バイパス災害復旧工事（福島県）

総施工面積：約2,430㎡ 実働日数：24日

<発注者：東北地方整備局 郡山国道事務所>



国道4号郡山バイパスのCO舗装区間における、2橋の橋台背面と3箇所の横断函渠背面の、それぞれ起点側と終点側で舗装版が沈下。最大沈下量は153mmで、沈下の範囲（横断方向）は舗装版2～4枚(L=14～40m)に及んでいた。

現況交通への影響が最も小さく、既設舗装版も活用でき、施工コストも含めて総合的に優位な「沈下修正工法」が採用された。

※第30回 日本道路会議にて発表された論文より

～施工の流れ～



交通規制後、施工プラント車配置



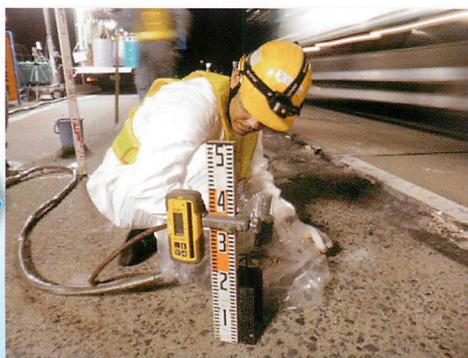
樹脂注入孔の削孔（集塵機併用）



@1.0m千鳥配置の削孔位置



片側2車線のうち1車線を規制しながら施工し、同日中に、規制帯を一度切り替えて残る1車線を施工。



常にレベル確認をしながらの樹脂注入作業

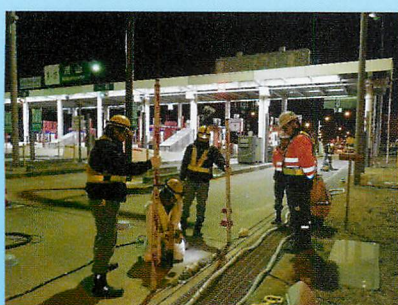


施工後レベル測量

【事例 8】 常磐自動車道 流山 IC コンクリート舗装補修工事（千葉県）

施工面積：約875㎡、 工期：8日間

<発注者：東日本高速道路株式会社>



常にレベル確認しながらの樹脂注入作業

CO舗装版が沈下した事により、ETCセンサー前に水溜りができ、車両が走行する度に水がはねてしまい、センサーに誤作動が生じていた。滞留水を排除し、規定の勾配で表面排水が取れるようにするために、沈下修正工事を行った。

施工前（レーン7）



段差 42mm

沈下したCO舗装版をリフトアップ。



※U字側溝は沈下していない

施工後



段差 0!!

沈下修正

バタつき解消

空隙充填

Point!

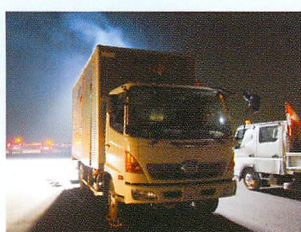
- ・ 交通規制の早期開放が可能
- ・ 供用を止めず最小限の影響で工事可能
- ・ 機動性のある施工プラント車（資機材一式搭載）で対応
- ・ 既設版を壊さずそのまま利用
- ・ 路盤の支持力も向上させる

国道・空港などの維持補修工として、自然災害等による緊急補修工として、多くの採用実績あり。

【事例 9】東京国際空港D滑走路維持管理等工事（東京都）

<発注者：関東地方整備局 東京空港整備事務所>

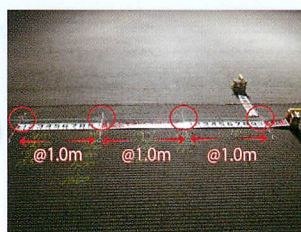
～施工の流れ～



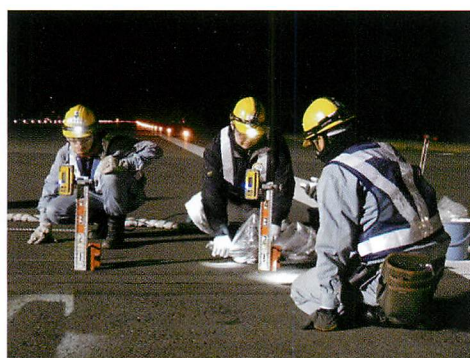
施工プラント車配置



樹脂注入孔の削孔



@1.0m間隔での樹脂注入孔



常にレベル確認をしながらの樹脂注入作業



施工後レベル測量

施工実績	2010年 9月（試験施工）
	2011年 6月
	2012年 2月
	2013年 1月
	2013年 12月

レベル管理用の測量器



レーザーレベル本体



レシーバー（受光器）

【事例 10】仙台空港維持補修工事（空隙充填・段差修正）（宮城県）

※試験施工



樹脂注入作業



国土交通省の関係者を招いた現場見学会

震災により、仙台空港のエプロン（駐機場）の一部に段差が発生した。またその後の調査により、エプロンと路盤の間に空隙が発生していることが判明した。段差 及び 空隙は、地震動による路床の液状化によるものと推測されている。早期に仙台空港の機能を回復するため、エプロンを撤去せずにエプロンの段差及び空隙を補修する方法として、当社工法が試験的に採用された。

施工前



段差箇所

施工後



修正後

施工の有効性を確認するため、エプロン1枚に対しての段差修正を実施

※空隙充填は、別の箇所でも実施

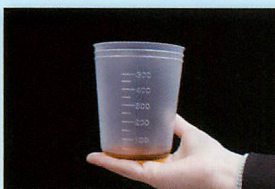
◆ アップコン工法のこだわり ◆

◆ ウレタン樹脂の注入間隔を1mおきにしている考え方

硬質発泡ウレタンとは、A液（ポリオール）とB液（イソシアネート）の2液が、短時間で、液体⇒クリーム状態⇒ゲル状態⇒固体と化学反応により状態を変えながら形成される樹脂です。地盤に注入された樹脂は、この反応を行いながら、半径1～1.5m位の影響範囲で広がります。



A液（ポリオール）とB液（イソシアネート）



① A液とB液を混合する。



② 化学反応により発泡する。



③ ウレタン樹脂が形成される。

◆ 『空隙の100%充填』による床振動抑制

● コア抜きによる検証

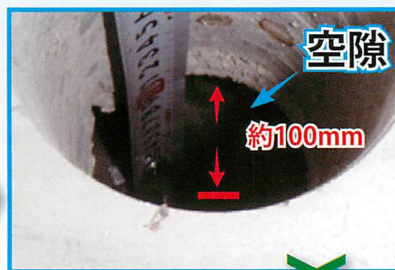
（宮城県内工場 当社施工物件より）



コア抜き作業



施工前



空隙

約100mm



施工後



樹脂が回りこんでいる
様子がわかる

床振動が発生するようになり、状況確認のため、コア抜きを実施。その結果、コンクリート下に大きな空隙があることが確認されました。

当社工法で空隙充填工事を実施し、床本来の性能を回復させ、床の振動を抑制しました。

● 振動測定器による検証

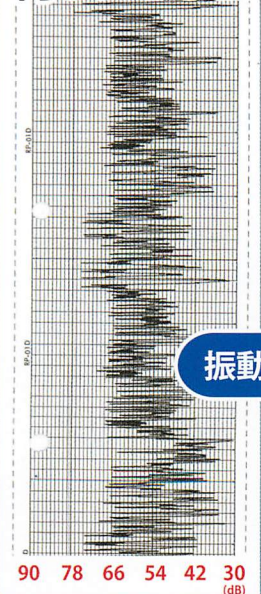
（愛知県内 当社施工物件より）



コンクリート振動測定 30dB～90dBを測定

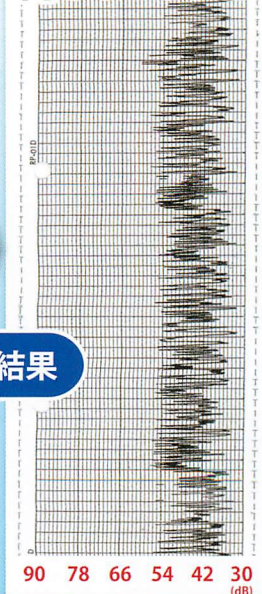
施工前

約30～78dB



施工後

約30～60dB



振動測定結果

身近な振動の大きさ

（※工場等騒音・振動の規則のあらまし（愛知県）より）

90dB			
80dB	【住民反応】	鉄道車両 座席上 振動	
70dB	よく感じる 50%		
	よく感じる 40%		
60dB	よく感じる 30%		
	やや感じる 50%		
50dB			

物的被害感が
生じ始める

振動感覚閾値

※振動感覚閾値：振動を感じる、感じないの境目の値

60dB 以下になり、振動が軽減されてます。

アップコンでは、コンクリート床を竣工時の状態に戻すために、注入間隔を原則 1 m おきに設定し、『**空隙の 100% 充填**』を行っています。

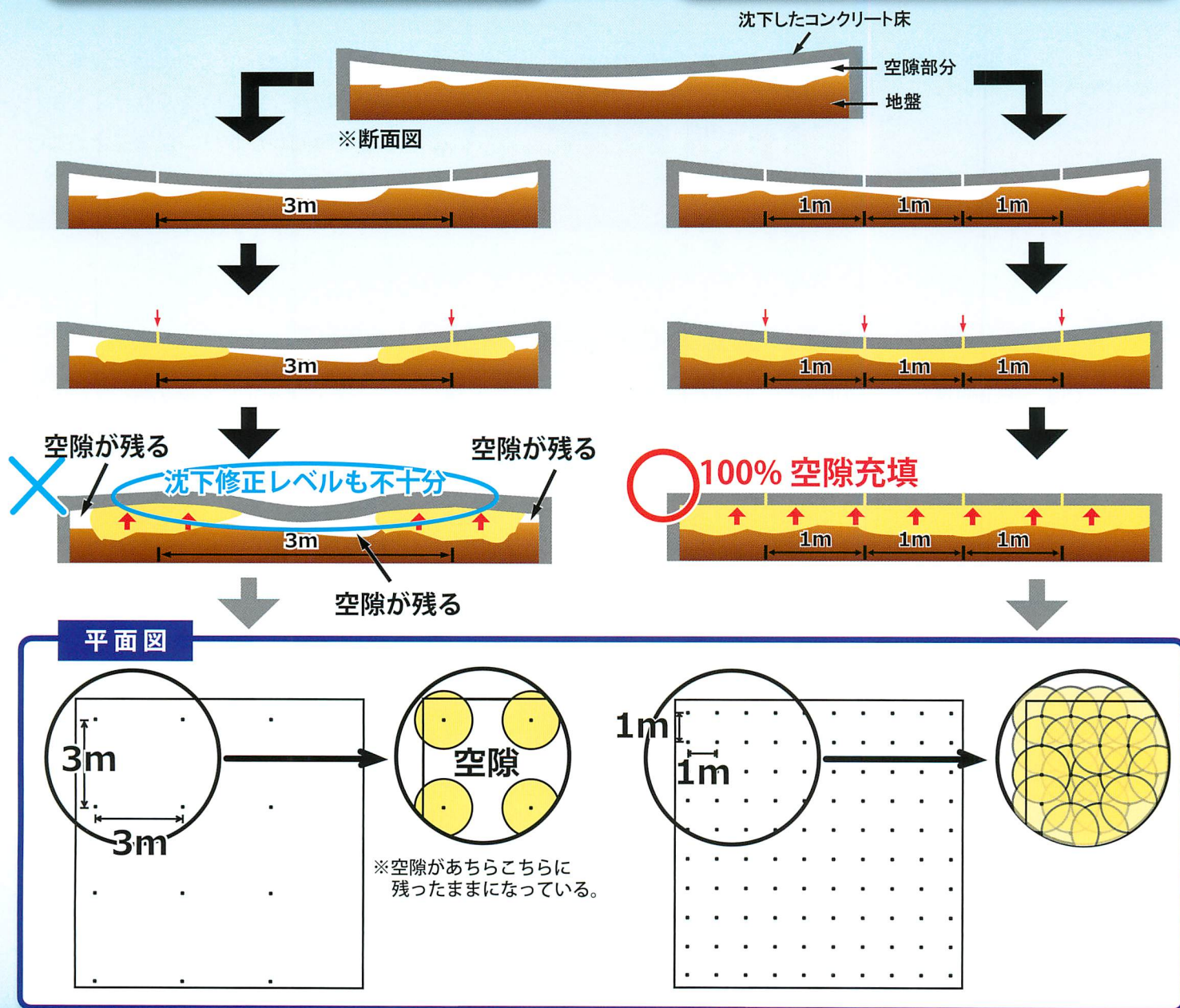
なぜ 1 m おきなのか？

注入間隔を大きく取った場合

(例：3 m ピッチ)

注入間隔を 1 m にした場合

(アップコン工法)



まとめ

注入間隔を大きく取った場合、コンクリート床に以下のような影響を及ぼすと考えられます。

- コンクリート床下に空隙が残る
- 樹脂が広がってない箇所も無理に持ち上げるため、コンクリート床にストレスがかかり、大きなクラックが発生しやすい
- 目標の沈下修正レベルへの未達部分ができやすくなる
- コンクリート床への負担がかかり、再沈下のリスクが高まる

アップコンではこれらの影響を考慮し、1m 間隔で注入を行っています。

また、注入箇所と注入箇所の間も、数ミリ単位でレベルコントロールすることができるので、精度の高い仕上がりが可能になります。

◆ アップコン工法の特長 ◆

工期 1/10 の床沈下修正

従来工法（コンクリート打替え）

← 10日以上 →

沈下した
コンクリート
撤去
(舗装版破碎)

新しいコンクリート打設
(コンクリート舗装)

配筋・型枠設置
コンクリート打設
仕上げ・養生・型枠撤去 など

アップコン
工法

工期 1/10!

← 1日 →

わずか1日

(モデル施工条件：面積：100～150㎡、コンクリートスラブ厚：150mm、最大沈下量：50mm 前後)

従来の沈んだコンクリート床の補修工法として、コンクリート打替えがあります。しかし、コンクリートを壊して打ち直し養生をしなければならず、店舗や倉庫、工場などの場合、新しいコンクリート床ができるまで時間がかかり、営業を止めなければなりません。

アップコンは、このような床を、従来工法の1/10 工期（当社比）で修正します。

Look! 大型の店舗や倉庫、工場などの床沈下を素早く修正

アップコンでは、施工面積が大きい現場や、超短時間で修正されたいお客様などに、施工プラント車を2台、3台・・・で対応した『最大で1日 900㎡』修正できるご提案をしています。

【ご提案例】

- ・夏期冬期休業、GWなどの連続休暇中での集中工事
- ・週末などの休みを利用した、工期を分けた工事 等



荷物や機械の移動なし。操業止めずに修正可能。

資機材一式搭載した施工プラント車（小型トラック）で現場まで駆けつけます。

店舗や倉庫、工場などの場合、建物出入り口付近に、資機材一式搭載した施工プラント車を配置します。そこから約80m延長可能な樹脂注入用ホースを沈下修正箇所まで延ばして、施工を行います。作業員数は1現場に3～5名程度（※施工プラント車1台の場合）。大型プラントの設置も不要です。

施工のための荷物や機械などの移動が必要なく、短時間で操業を止めずに修正することができます。



機械そのままの施工(電子部品製造工場)



営業閉店中の夜間施工(スーパーマーケット)



お客様による施工後すぐの業務再開(倉庫)

自社社員による高い技術力で、精度の高い安心施工

北海道から九州・沖縄まで、調査・施工は日本全国。

資機材一式搭載した小型トラックで、技術と資格を持ったアップコンの社員が、直接現場にお伺いします。



アップコンの技術員

使用材料の種類

一般用樹脂

(店舗・倉庫・工場・住宅・学校などの沈下修正(空隙充填)工事に使用)
物性値

特性項目	単位	物性値	試験方法適用規格
密度	Kg/m ³	62.0	JIS K 7222 :2005
圧縮強さ	kPa	363	JIS K 7220 :2006
曲げ強さ	kPa	771	JIS K 7221-2 :2006

※物性値は標準値であり、保証値ではありません。
※オーバーバック率 10%

空隙充填用樹脂

(空隙量が多い現場に提案)

物性値

特性項目	単位	物性値	試験方法適用規格
密度	Kg/m ³	25.5	JIS K 7222 :2005
圧縮強さ	kPa	51.9	JIS K 7220 :2006
曲げ強さ	kPa	120.5	JIS K 7221-2 :2006

※物性値は標準値であり、保証値ではありません。
※オーバーバック率 0%

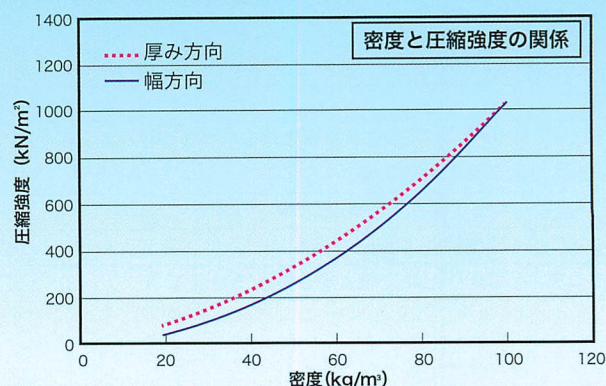
高強度用樹脂

(道路・踏み掛け版・空港などの公共工事で使用)

物性値

特性項目	単位	物性値	試験方法適用規格
密度	Kg/m ³	185.0	JIS K 7222 :2005
圧縮強さ	kPa	1400	JIS K 7220 :2006
曲げ強さ	kPa	900	JIS K 7221-2 :2006

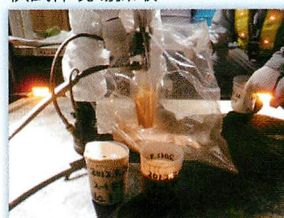
※物性値は標準値であり、保証値ではありません。
※フリー発泡



●圧縮強度試験

(「郡山国道4号バイパス災害復旧工事」にて採取した樹脂)

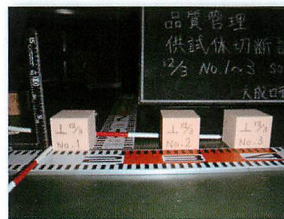
供試体現場採取



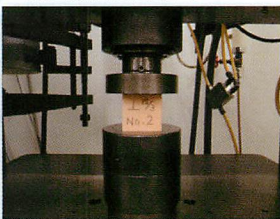
採取した供試体



試験用に切断・調整



一軸圧縮強度試験 (JIS K 7220)



当社工法は、空港の滑走路や高速道路、国道などの公共工事の際、国土交通省土木工事共通仕様書に定められた、上層路盤の品質規格に適合する強度を持つ材料を使用しています。

(※公共工事などで使用している高強度用樹脂 圧縮強度 1400kPa 以上)

※物性値は、日本パフテム株式会社 品質証明書より転載

フロンガス定量分析試験結果

試験項目	「アップコン」 検出濃度(μg/g)		
	N=1	N=2	平均値
HCFC-141b ※1	不検出(1以下)	不検出(1以下)	不検出(1以下)
HFC-245fa ※2	不検出(1以下)	不検出(1以下)	不検出(1以下)
HFC-365mfc ※3	不検出(1以下)	不検出(1以下)	不検出(1以下)
HFC-134a ※4	不検出(1以下)	不検出(1以下)	不検出(1以下)

※1 HCFC-141b : 1,1-ジクロロ-1-フルオロエタン ※3 HFC-365mfc: 1,1,1,3,3-ペンタフルオロプロパン
※2 HFC-245fa : 1,1,1,3,3-ペンタフルオロプロパン ※4 HFC-134a : 1,1,1,2-テトラフルオロエタン

土壌への影響確認(濃度計量試験結果)

検定項目	検出値	検定項目	検出値
トリクロロエチレン	不検出	1,1,1-トリクロロエタン	不検出
テトラクロロエチレン	不検出	1,1,2-トリクロロエタン	不検出
ジクロロメタン	不検出	1,3-ジクロロプロペン	不検出
1,2-ジクロロエタン	不検出	ベンゼン	不検出
1,1-ジクロロエチレン	不検出	四塩化炭素	不検出
シス-1,2-ジクロロエチレン	不検出	※不検出とは、定量下限値未満のことを示す。 ※H15 環境省告示第18号による測定。	

- 試験方法 : JIS K 0125 5.2
- 試験機関 : 株式会社ニチュ・テクノ

耐薬品性

薬品名		24時間浸漬後の状態
有機酸	10% クエン酸	変化なし
	10% 酢酸	変化なし
	10% 蟻酸	変化なし
塩基物	10% 水酸化アンモニウム	変化なし
	10% 水酸化カリウム	変化なし
	10% 水酸化ナトリウム	変化なし
酸化剤	1% 二酸化塩素	着色
	10% 過酸化水素	着色
	5% 次亜塩素酸ナトリウム	着色 吸収大
酸	10% 塩酸	変化なし
	10% 硫酸	変化なし
	10% シュウ酸	変化なし
	10% 硝酸	着色
エーテル・ケトン	エチルエーテル	変化なし
	グリセリン	変化なし
芳香族炭化水素	ブレーキオイル	変化なし
	灯油	変化なし
その他	水	変化なし
	蒸留水	変化なし
	海水	変化なし

確認方法: 500mlビーカーに薬品300gを入れ、フォームサンプル 50x50x40を薬品中に浸漬し、常温で24時間後の状態を確認する。

◆ 施工実績 ◆

(※直近の施工実績より一部抜粋。実績表の用意がありますので、ご希望の方はお問合せ下さい。)

店舗

工事名	工事内容	沈下及び空隙レベル	施工面積	地域
ショッピングセンター 土間床沈下修正工事	沈下修正	最大沈下61mm	557㎡	青森県
大型店舗 土間床沈下修正工事	沈下修正	最大沈下66mm	467㎡	秋田県
スーパーマーケット土間床沈下修正工事	沈下修正	最大沈下126mm	1956㎡	千葉県
ホームセンター土間床沈下修正工事	沈下修正	最大沈下120mm	2202㎡	愛知県
パチンコ店 土間床下空隙充填工事及び沈下修正工事	沈下修正・空隙充填	最大沈下146mm	747㎡	宮城県

倉庫・物流センター

工事名	工事内容	沈下及び空隙レベル	施工面積	地域
製品保管倉庫 土間床沈下修正工事	沈下修正	最大沈下71mm	7580㎡	千葉県
物流センター床沈下修正工事	沈下修正(段差修正)	最大沈下105mm	1144㎡	茨城県
配送センター床沈下修正工事	沈下修正	最大沈下294mm	666㎡	北海道
物流センター土間床沈下修正工事及び空隙充填工事	沈下修正、空隙充填	最大沈下93mm、最大空隙 150mm	410㎡	岡山県
流通センター土間床下空隙充填工事及び土間床沈下修正工事	沈下修正、空隙充填	最大沈下103mm、最大空隙 90mm	1461㎡	新潟県

工場

工事名	工事内容	沈下及び空隙レベル	施工面積	地域
精密機械工場検査室 土間床下空隙充填工事及び沈下修正工事	沈下修正・空隙充填	最大沈下93mm	298㎡	福岡県
食品工場 土間床下空隙充填工事 補修工事	空隙充填(沈下抑制)	最大空隙140mm	710㎡	千葉県
食品加工工場 土間床沈下修正工事	沈下修正	最大沈下221mm	1134㎡	岩手県
精密機械工場 土間床沈下修正工事	沈下修正	最大沈下66mm	1540㎡	栃木県
製品製造工場 空隙充填工事及び土間床沈下修正工事	沈下修正・空隙充填	最大沈下40mm	1468㎡	福島県

学校・体育館

工事名	工事内容	沈下及び空隙レベル	施工面積	地域
小学校プレハブ校舎床改修工事	沈下修正	最大61mm沈下	233㎡	千葉県
小学校教室土間床沈下修正及び空隙充填工事	沈下修正・空隙充填	最大沈下70mm、最大空隙250mm	525㎡	宮城県
高等学校 講堂 震災復旧工事	沈下修正	最大沈下189mm	725㎡	青森県
高等学校 土間沈下修正工事及び床下空隙充填工事	沈下修正・空隙充填	最大沈下71mm、最大空隙300mm	324㎡	岡山県
中学校体育館 改修工事	沈下修正・空隙充填	最大沈下119mm、最大空隙180mm	719㎡	秋田県

住宅・その他

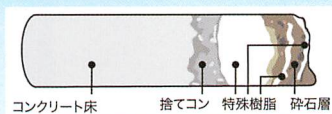
工事名	工事内容	沈下及び空隙レベル	施工面積	地域
ベタ基礎住宅沈下修正工事	沈下修正	最大沈下89mm	58㎡	茨城県
ベタ基礎住宅沈下修正工事	沈下修正(他工法併用)	最大沈下697mm	128㎡	千葉県
JA事務所 土間床沈下修正工事	沈下修正	最大沈下49mm	267㎡	佐賀県
銀行ロビー及び事務所土間床沈下修正工事	沈下修正	最大沈下70mm	212㎡	新潟県
介護施設土間床沈下修正工事	沈下修正	最大沈下34mm	792㎡	埼玉県

公共工事（道路・踏み掛け版・空港 等）

工事名	工事内容	発注者	地域	
平成25年度 東京国際空港D滑走路維持管理等工事(その2)	舗装版補修	関東地方整備局 東京空港整備事務所	東京都	大田区
大分港鶴崎地区岸壁 係留杭基礎下空隙充填工事	空隙充填	大分県 大分土木事務所 大分港振興室	大分県	大分市
下関地区保全工事 関門トンネルCO舗装版下空隙充填工事	空隙充填	西日本高速道路株式会社	福岡県	北九州市
東港区中央ふ頭ドライコンテナヤード造成工事	段差修正	苫小牧港管理組合	北海道	苫小牧市
常磐自動車道 谷和原管理事務所管内 舗装補修工事	段差修正	東日本高速道路株式会社	茨城県	水戸市

◆ 環境への取り組み ◆

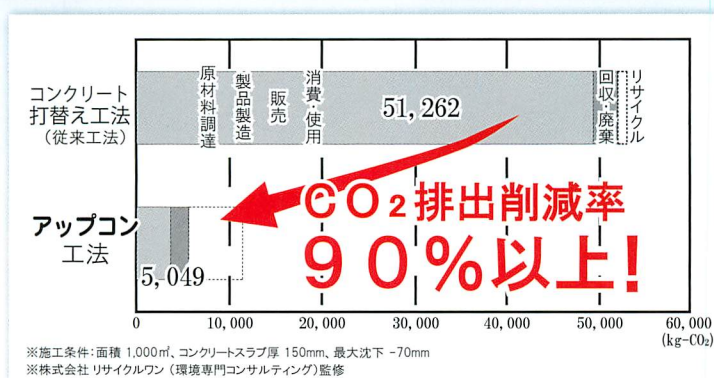
環境にやさしい完全ノンフロン樹脂を使用



アップコンは、日本パフテム株式会社(国内のウレタン原料製造メーカー)と共同開発した、フロン・代替フロンを発生しない完全ノンフロンの硬質発泡ウレタン樹脂を使用しています。

水や海水並びに土中に含まれる他のほとんどの物質に対して溶融せず、また土壤汚染物質も含まれていません。

従来工法(コンクリート打替え)とアップコン工法のCO₂排出量を比較



LCA の概念に基づき、「原材料調達」⇒「生産」⇒「流通」⇒「使用」⇒「廃棄・リサイクル」というライフサイクルフローを作成し、従来工法(コンクリート打替え)とアップコン工法のCO₂排出量を比較。第三者機関(環境専門のコンサルティング会社(株式会社リサイクルワン))による算出を行ったところ、

『アップコン工法のCO₂削減率が90%以上である』ことがわかりました。

従来工法には、「コンクリート床を壊して打ち直す」フローが含まれており、このフローが含まれていないアップコン工法に、“90%以上”という結果が算出されたものです。

※LCA(＝ライフサイクルアセスメント)とは、製品やサービスの環境への影響を評価する手法

私たちは、環境に安全な材料を使用し、お客様・協力会社・社員・家族・社会全体が安心できる工法を広め、社会に貢献することを使命だと考えます。

< 会社概要 >

商 号 : アップコン株式会社
建設業許可番号: 神奈川県知事許可(般-25)第68566号

代表者 : 代表取締役 松藤 展和

設 立 : 2003年6月

資本金 : 4300万円 (※2017年7月現在)

事業内容 : 土木工事業 及び 建築工事業

- ・コンクリート床スラブ沈下修正工法「アップコン」による施工・施工管理
- ・ウレタン製土壌改良材「ナテルン」による施工・施工管理及び「ナテルン」の販売
- ・農業用水路トンネル機能回復加圧式ウレタン充填工法「FRT工法」による施工・施工管理
- ・ウレタンを使った新技術の研究・開発



ニッポン上げろ!



技術と資格を持ったアップコンの社員が責任施工！
日本全国、いつでもどこへでも駆けつけます！



アップコン株式会社

< 本 社 >

〒213-0012
神奈川県川崎市高津区坂戸3-2-1 KSP東棟611
TEL:044-820-8120 FAX:044-820-8121
E-Mail: info@upcon.co.jp

< 札幌事務所 >

〒060-0002
北海道札幌市中央区北2条西2丁目3-2
TEL: 011-806-3578

< 仙台事務所 >

〒980-0014
宮城県仙台市青葉区本町1-5-31 シエロ仙台ビル
TEL:022-397-8523

< 名古屋事務所 >

〒460-0002
愛知県名古屋市中区丸の内3-7-26 ACAビル5階
TEL:052-265-7459

< 大阪事務所 >

〒542-0083
大阪府大阪市中央区東心斎橋 2-8-2 日宝本社ビル
TEL:06-6213-8130

< 福岡事務所 >

〒812-0013
福岡県福岡市博多区博多駅東2-5-28 博多偕成ビル2階
TEL:092-433-8513

〒162-0065 東京都新宿区住吉町2-10

ソフィアM6階

常盤工業株式会社
建設事業部

TEL:03-5361-8989 FAX:03-5361-8988
<http://www.tokiwakogyo.co.jp/>



0800-123-0120

アップコン

検索

<http://www.upcon.co.jp>



ISO:9001 ISO:14001 ISO:27001 認証取得

H29.7.1000